

米トレサ法に基づく立入検査結果の公表を受けて

本組合の組合員である榊京山に関する週刊ダイヤモンドが報じた中国産米混入疑惑報道につきましては、一般消費者の方々及びお取引先様には、大変ご心配をお掛けしました。同報道を受け、農林水産省及び京都府から、榊京山は、立入検査を受けておりましたが、6月27日、立入検査の結果が公表され、外国産米の混入が疑われるようなことは確認されず、米トレサ法に抵触する事実は確認されなかったことが公表されました。

今回の調査結果により、週刊ダイヤモンドの報道は偽りであり、榊京山に関しての疑いが晴れ、潔白が証明されました。

組合員は、日頃より表示の適正化、コンプライアンスの遵守に取り組んできております。本組合は、今後とも、お客様から信頼される業界を目指し、組織を挙げて表示の適正化、コンプライアンスの徹底を続けてまいります。

平成29年6月30日
全国米穀販売事業共済協同組合